
第 2 6 6 号

2011年10月12日

日本気象学会

関西支部 ニ ュ ー ス

- 関西支部第29期役員の補充・交代
- 2011年度 関西支部理事会報告
- 2011年度 関西支部総会および年会報告
- 関西支部 第33回 夏季大学報告
- 支部発行過去文献の電子化公開
- 2011年度第1回例会（四国地区）、
第2回例会（中国地区）について
- 会員種別について
- メールアドレス登録のお願い
- 住所変更届のお願い
- （社）日本気象学会入会案内

〒 540-0008

大阪市中央区大手前4丁目 1-76

大阪合同庁舎第4号館

大阪管区気象台内

日本気象学会関西支部

振替 00980-5-18318

TEL (06) 6949-6322

FAX (06) 6944-2121

ホームページ：

<http://www.msj-kansai.jp/>

E-mail：

info@msj-kansai.jp

(注：メールアドレスはスパム対策のため全角で記しています。メール送信の際は半角で入力してください。)

○ 関西支部第29期役員の補充・交代

4月期の人事異動等に伴い日本気象学会関西支部長（代理：向川 均 常任理事）が常任理事、地区理事の推薦及び幹事の指名を行いました。また、常任理事会の互選により、新支部長に永田氏が選出されました。6月期の人事異動に伴い、永田支部長により難波氏が常任理事に推薦されました。さらに7月期の人事異動に伴い、永田支部長により小泉氏が地区理事（近畿）に推薦されました。新役員は以下の通りです。

	(旧役員)	(新役員)	(新役員の所属)
支部長	佐々木秀行	永田 雅	大阪管区気象台
常任理事	大澤 輝夫	岩山 隆寛	神戸大学
常任理事	諸岡 浩子	竹川 元章	大阪管区気象台
常任理事	岡留 健二	難波 良彰	日本気象予報士会関西支部
地区理事 (四国)	森 滋男	永澤 義嗣	高松地方気象台
幹 事	高橋 清和	酒井 亮太	大阪管区気象台
地区理事 (近畿)	宮下 孝治	小泉 隆	日本気象協会関西支社

○ 2011 年度関西支部理事会報告

6月25日11時から、「エル・おおさか」において、2011年度総会に先立ち理事会が開かれました。竹川常任理事の司会で、午後からの総会を前に、各議題の報告及び審議が行われました。

まず、前項のとおり第29期役員が選出されたことが報告されました。次に2010年度の事業報告、収支決算報告、及び会計監査報告について、続いて2011年度事業計画案と予算案について各担当理事が説明しました。第33回夏季大学は「最新の衛星観測」のテーマで2011年8月27日（土）に京都市での開催とし、夏季大学により多くの方に参加してもらえるように、参加費を昨年度より500円値下げして1,500円とすることが承認されました。



理事会の様子

○ 2011 年度 関西支部総会および年会報告

<2011年度気象学会関西支部総会> 2011.06.25 13:00~13:45

総会では最初に総会成立審査を行い、江崎幹事から、理事を含む役員17名、通常会員の出席者10名、委任状90名をあわせて117名で、関西支部通常会員数162名の過半数82名を超えており総会が成立する旨、報告がありました。続いて、第29期役員の紹介後、永田支部長が開会の挨拶をしました。

その後、京都大学の西氏を議長に選出して議事が進められました。まず、2010年度の事業報告・収支決算報告・会計監査報告が行われました。これらの報告は全て原案どおり承認されました。

続いて2011年度事業計画案・予算案が審議されました。関西支部ホームページサーバーを移行すること、それに伴いホームページアドレスおよびメールアドレスを7月から変更することが関西支部理事会から提案されました。メーリングリストへの登録を希望する会員やアドレスの変更のあった会員は連絡して欲しい旨説明がありました（詳細については、後述の「メールアドレス登録のお願い」をご覧ください）。これらも原案どおりすべて賛成多数で承認されました。また、支部発行の過去文献の電子ファイルを8月から公開する予定を進めることが提案されました（実際は9月に公開になりました。作業が遅れて大変申し訳ありませんでした。）。これらについても全て原案どおり承認されました。

議長解任の後、総会は閉会となりました。

<2010年度気象学会関西支部年会> 2011.06.25 14:00~16:45

年会には総会出席者の他、研究発表に関係した气象台職員や大学生や気象予報士の約40名の出席となりました。発表題数は9題と昨年に比べて5題減りましたが、最近5年

間は、昨年を除くと8題または9題となっており、ほぼ例年通りの発表題数でした。

座長は、前半4題を石岡理事（京都大学）、後半5題を竹川理事（大阪管区気象台）が担当しました。Ka帯FMCWドップラー気象レーダー（KaDR）の特性に関する研究、大気伝導率の測定による環境気象に関連した研究、対流性降水や集中豪雨、局地豪雨の環境場に関する研究、海洋の東部で発生する層積雲や北大西洋の海面水温、夏季日本上空の高気圧についてなど気候に関する研究、低気圧の構造と理論に関する研究など、幅広い内容の発表に充実した年会となりました。

年会終了後は懇親会が行われ、関西支部の活動についての話などに花が咲きました。



年会の光景

○ 関西支部 第33回 夏季大学報告

2010年8月27日（土）に、京都駅前のキャンパスプラザ京都の第3講義室（4F）で夏季大学を開催しました。今回のテーマは「最新の衛星観測」で、以下のとおり3題の講演が行われました。

日本気象学会関西支部 第33回 夏季大学「最新の衛星観測」

8月27日（土） 10:00~17:00（於：キャンパスプラザ京都（京都駅前）4階第3講義室）

1 「宇宙から見る地球の大気」

塩谷 雅人 氏（京都大学生存圏研究所教授）

2 「エアロゾルを宇宙から観る」

関山 剛 氏（気象研究所環境・応用気象研究部主任研究官）

3 「宇宙からの降水観測」

重 尚一 氏（京都大学大学院理学研究科准教授）

昨年に引き続き、今年の夏季大学も週末の土曜日1日の開催としました。今回の受講者は昨年より若干少ない73名で、講義室はほぼ満員となりました。受講者の年齢層も21才から76才と幅広く、質問の時間には数多くの質問が挙がりました。

まず、塩谷氏による「宇宙から見る地球の大気」の講義では、衛星観測の歴史を簡単に振り返り、オゾンホールの問題を例として取り上げて衛星からのオゾン層観測についてわかりやすく解説するとともに、衛星観測がわれわれにもたらしたものについての説明では、現場観測から呼び起こされる想像力と衛星観測を使いこなす構想力の



二つが重要であることを示されました。第2講座の関山氏による「エアロゾルから宇宙を観る」の講義では、余りなじみのないエアロゾルについて、多くの図を使ってわかりやすく説明されるとともに、エアロゾルが気候の及ぼす影響や天気予報精度を高めるために発展してきたデータの同化について解説されました。そして、第3講座の重氏による「宇宙からの降水観測」の講義では、ご自身の JAXA での勤務時の体験を交えて講義を行いました。講義では、宇宙から降水観測を行う意義、リモートセンサの種類や観測上の誤差などについて解説されました。TRMM衛星の成功を受けて計画される全球降水観測計画の紹介とそのためには国際的な協力が必要であると説明されました。

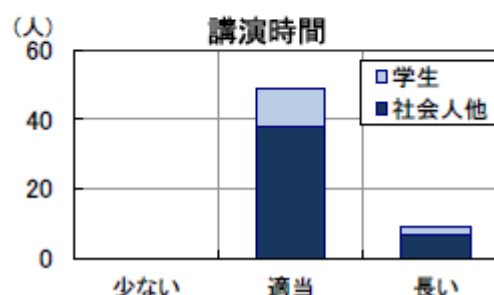
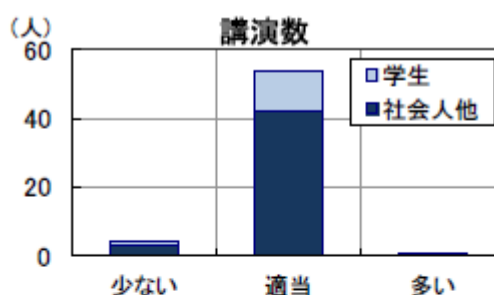
参加者に対して行ったアンケート結果は次のとおり（回収率84%）。

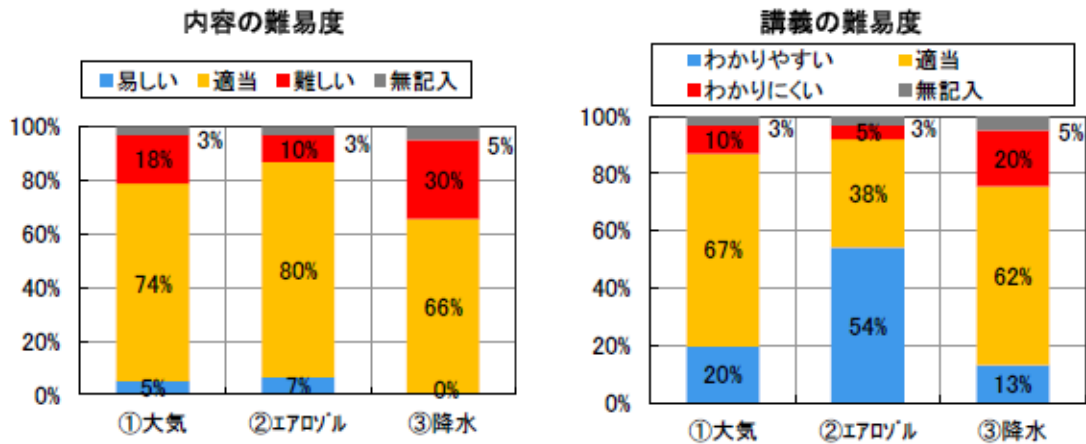
参加者は、男性が全体の8割強で、女性の参加比率が昨年に比べて増加しました。年代でみると20代と50代が多く、昨年3名いた10代が0となりました。30-40代が減り、50-60代の割合が増えました。全体の8割弱が京都府・大阪府・兵庫県の3府県からの参加でした。愛知県、福井県、岡山県からの参加もあり、東京都からの参加割合が全体の9%と高くなりました。また今年は、会社員の参加者が全体の32%で最も多く、近年の教員が少なく会社員が多いという傾向が今回も現れました。近年学生の割合も高くなっています。夏季大学を知ったきっかけは、関西支部や予報士会などの電子メールが4割で最も多く、割合も増える傾向にあります。関西支部HP、知人からの紹介を合わせると8割弱となりました。受講経験では、今回初めて参加された方が全体の55%となり、今後リピーターを増やしていく工夫が必要と考えられます。

夏季大学に参加した感想を尋ねると、講義数および講義時間が「適当」と回答した参加者が非常に多かったものの、講義時間が「長い」と回答した参加者の割合は昨年度と同程度で、「短い」との回答が初めて



講演する塩谷氏（前頁）、関山氏（上）、重氏（下）





0 となりました。それぞれの講義の難易度と分かりやすさについては、前回、前々回に比べて難易度が「難しい」と答えた割合が減りました。受講者に対する講演者の講義レベル設定が適切であったと考えられます。

また、夏季大学で今後、取り上げてほしいテーマを尋ねたところ、天気予報、気象災害、気候変動がそれぞれ2割弱で、昨年と同様の傾向を示しました。その他にも雲物理など色々なテーマが挙がりました。

今回のアンケート結果をもとに、関西支部では、多くの皆さんに満足していただける夏季大学を企画していきたいと思えます。来年度の夏季大学にも多数の皆様のご参加をお待ちしております。

○支部発行過去文献の電子化公開について

発行から3年を経過した刊行物（年会講演予稿集、例会講演要旨集、夏季大学テキスト、シンポジウム講演要旨集）を9月20日から当支部HPの過去文献公開ページで公開を開始しました。

1975年以降の支部発行の掲載論文等のすべての著者に対して、当支部HPでの公開を目的に電子化した掲載論文等の著作権を当支部に委譲下さるよう、お願いしています。

公開を希望されない掲載論文等については、お知らせいただければ公開の対象から除外しますので、その旨を当支部事務局までお知らせください。

○ 2011年度第1回例会（中国地区）、第2回例会（四国地区）について

・第1回例会（中国地区）

開催日：2011年11月5日（土）

会 場：広島市東区民文化センター 大会議室（3階）

発表申込締切：10月12日（水）

・第2回例会（四国地区）

開催日：2011年12月17日（土）

会 場：香川大学生涯学習教育研究センター第一講義室

発表申込締切：11月24日（木）

詳細については、関西支部HPのお知らせを参照してください。多数の参加をお願いします。

○会員種別について

会員の種別につきましては、2006年度理事会・総会において「支部会員の種別化について、2004年8月から既に本部で実施している形をそのまま準用し、今後通常会員のみ選挙権や議決権をもつこととする。」ことが承認されました。このため、通常会員は総会の議決権及び役員選挙における選挙権と被選挙権があり、特別会員にはありません。特別会員から通常会員に、あるいはその逆への変更はいつでもできますので、希望される方は日本気象学会事務局まで連絡して下さい。

○ メールアドレス登録のお願い

関西支部ニュースは年3回（5月、10月、3月）発行予定で、2006年度から関西支部ホームページに掲載して閲覧していただいています。支部ニュース発行、総会・年会・例会などの開催通知等は支部全会員にE-mailで配信しています。まだ登録されていない会員の方は、会員氏名・番号、E-mailアドレスを関西支部事務局まで、ご登録いただくよう重ねてお願いします（関西支部の連絡先などは最初のページをご覧ください）。

○ 住所変更届のお願い

機関誌「天気」などの発送は学会本部事務局の会員名簿に基づいて行っています。学会事務局では会員の皆様の移動状況を早めに把握するように努めておりますが、把握漏れがあった場合には旧勤務地（旧住所）に発送され、旧勤務地（旧住所）の方に転送等の御迷惑をおかけすることになります。会員の皆様におかれましては、転勤等により勤務地（住所）が変わった場合、変更届を速やかに下記の学会本部事務局宛にご連絡いただきますようお願いいたします。

※学会事務局 〒100-8122 東京都千代田区大手町1-3-4 気象庁内

TEL：03-3212-8341（内線 2546） FAX：03-3216-4401

E-mail `met soc-j@aurora.ocn.ne.jp`

（注：メールアドレスはスパム対策のため全角で記しています。メール送信の際には半角で入力して下さい）

住所等の変更届

- | | |
|--------------|------|
| ・会員番号： No. | ・氏名： |
| ・旧勤務地（旧住所）：〒 | |
| ・新勤務地（新住所）：〒 | |

会費の納入など詳しいことは学会事務局にお尋ね下さい。

※学会事務局 〒100-8122 東京都千代田区大手町1-3-4 気象庁内

TEL：03-3212-8341（内線 2546） FAX：03-3216-4401

○ (社)日本気象学会入会案内

ホームページ: <http://wwwsoc.nii.ac.jp/msj/Form/nyukai-j.html>

入会申込書 (個人用)		(社団法人)日本気象学会	
(太線の枠内だけを記入して下さい)		FAX : 03-3216-4401	
個人会員番号	所属支部	受付日	20 年 月 日
		承認日	20 年 月 日
フリガナ		生年月日	19 年 月 日
姓 名		職 業	
性 別	1. 男 2. 女		
郵便物の送付先			
〒 -		(電話)	
現住所 (郵便物の送付先と同じ場合は記入しなくてよい)			
〒 -		(電話)	
勤務先または大学名 (部署、学部等詳細に) (郵便物の送付先と同じ場合は記入しなくてよい)			
〒 -		(電話)	
入会時の「天気」への「住所」の掲載			
1. 郵便物の送付先 2. 現住所 3. 勤務先・大学名 4. 掲載を希望しない			
電子メールアドレス		@	
(学会メーリングリストへの登録は学会HP (http://wwwsoc.nii.ac.jp/msj/) からお申し込み下さい)			
会 員 種 別 (希望の記号を○で囲む。賛助会員は会費(4万円以上)を記入)			
1. 通常A (一般) 11. 特別A (一般) 共に (会費 6,900円、「天気」を無償配布) 2. 通常B (一般) 12. 特別B (一般) 共に (会費12,600円、「天気」と「気象集誌」を無償配布) 3. 通常A (学生) 13. 特別A (学生) 共に (会費 4,200円、「天気」を無償配布) 4. 通常B (学生) 14. 特別B (学生) 共に (会費 8,100円、「天気」と「気象集誌」を無償配布) 5. 通常A (高年) 15. 特別A (高年) 共に (会費 4,200円、「天気」を無償配布) 6. 通常B (高年) 16. 特別B (高年) 共に (会費 8,100円、「天気」と「気象集誌」を無償配布) 17. 特別C (会費 6,600円、「気象集誌」を無償配布)			
注① 通常会員には総会での議決権、役員に関する選挙権などが有り、特別会員には有りません。 注② (高年) 会員は本人がこの種別を希望し、前年12月末に65歳以上に達していない個人です。			
31. 賛助会員 (会費 万円、「天気」と「気象集誌」から希望のものを無償配布)			
希望支部 (外国在住者のみ記入。希望なしは関東支部。(国内在住者は自動的に決定されます))			
1. 北海道 2. 東北 3. 関東 4. 中部 5. 関西 6. 九州 7. 沖縄			
機関誌の配布開始希望月 (年途中からの会費は月割りとなります)			
天 気	巻 号 から	気 象 集 誌	巻 号 から
定期購読希望 (機関紙以外の刊行物)			
気象研究ノート	1. 希望する (号から)	2. 希望しない	
大会予稿集	1. 希望する (年春から / 秋から) (号から)	2. 希望しない	
来年からの会費納入方法			
1. 郵便口座からの引落し 2. 銀行口座からの引落し 3. 郵便局からの振込み			
注① 1.2. の場合は折り返し必要書類をお送りします。記入のない場合は、3. とします。 注② 手数料が安く、全国的に利用できる1. がお勧めです。			
通信欄 (その他)			

月 割 り 会 費	号数	単 価	小 計
天気		円	円
気象集誌		円	円
合計			円

(月割り会費の単価)

天気 : 一般 580円、学生・高年 350円。

気象集誌 : 一般 950円、学生・高年 650円、

特別C 1,100円。